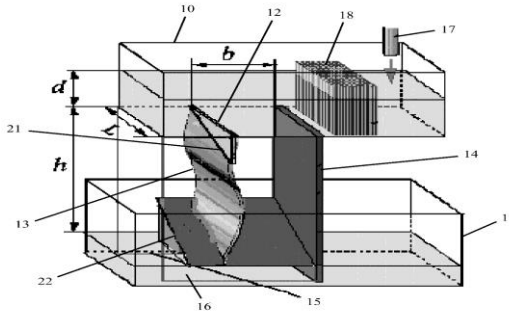


落下水膜の振動抑制装置及び抑制方法

概要・品質・性能	砂防ダムのような固定堰、あるいはゲートのような堰から水が膜状になって落下する場合、しばしば水膜振動が発生し、近隣の民家の障子や窓ガラスを振動させたり、ゲートそのものを振動させたりして問題となる。この振動を防止する方法が本装置である。水膜の落下距離を不均一に設定し、水膜各点の落下終了位置での水平方向の変位に位相差を発生させて、水膜による発生圧力を相殺する落下水膜の振動抑制方法。	 10 上部水槽，11 下部水槽，12 スリット， 13 水膜，17 給水管，18 整流板	
用途	堰やダムから落下する水膜の振動を抑制する装置とその抑制方法に関し、特に、落下水膜の振動に起因する騒音や低周波音の発生を防止する。	技術移転	①形態 特許売却、特許実施権供与 ②相手先 問わない ③地域 国内に限定
実用化・情報	[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 無し [技術情報の提供] 技術資料、特許公報 [情報提供者] 埼玉大学 研究機構 オープンイノベーションセンター [連絡先] 知的財産部門 整理番号：0502-30 TEL 048-858-9106 FAX 048-858-9120 e-mail coic-chizai@ml.saitama-u.ac.jp	特許等	特許番号 特許第4182225号 登録日 平成20年9月12日 特許権者 国立大学法人埼玉大学 発明者 佐藤 勇一・長嶺 拓夫